



スイス・リーの最新調査：  
地震リスクの高い国においても、地震保険の普及率は世界的に低いことが明らかに

## Contact:

Media Relations, Zurich  
Telephone +41 43 285 7171

Lucia Bevere, Zurich  
Telephone +41 43 285 9279

Thomas Holzheu, New York  
Telephone +1 212 317 5190

Clarence Wong, Hong Kong  
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd  
Mythenquai 50/60  
P.O. Box  
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121  
Fax +41 43 285 2999  
www.swissre.com

- 世界の大部分において、未だに地震リスクに対する保険普及率が非常に低いことが、調査で明らかに
- 保険普及率が低い理由は、多くの場合、地震多発地域におけるリスク認識の低さにある
- 地震モデルは、二次的損害要因をさらに包括的に考慮すべき

チューリッヒ、2012年1月17日—スイス再保険会社(以下、スイス・リー)の最新の専門的調査書「最近の大地震からの教訓」によると、過去2年間に複数の大地震が、壊滅的ともいえる数の死傷者を出し、広範囲にわたる財物損害を引き起こしました。度重なる地震による社会への多大な影響は、測り知れません。2010年—2011年の地震による経済的損害は、2,760億米ドルを超えています。しかし、地震多発国における保険普及率は未だ非常に低い水準にとどまっています。

スイス・リーの経済調査・コンサルティング部、災害データ担当シニアアナリストで、本調査の共同執筆者でもあるルチア・ベヴェーレは次のように述べています。「保険業界は、被災国の災害後の資金確保において重要な役割を担っています。保険によって失われた命や生活を取り戻すことはできませんが、適切な保険やその他のリスク移転手法によって復興過程を大きく加速させることができるでしょう。ただし、保険業界の復興努力への貢献度は、国によって大きく異なっています。

2011年2月に発生したニュージーランドの地震については損害総額のうち推定80%が保険でまかなわれますが、2011年3月に発生した東日本大震災についての保険による負担はわずか17%にすぎません。実際、地震保険の普及率はニュージーランドが最も高く、日本は、特に企業向け損害保険の普及率において非常に低い水準にあります。



表 1: 最近の大地震

		経済的損害 (単位: 10 億米ドル)	経済的損害 GDP比率 (%)	保険損害 (単位: 10 億米ドル)	保険業界の寄与
2011.03.11	日本	210~300	3.8%~5.4%	35	12%~17%
2010.02.27	チリ	30	18.60%	8	27%
2011.02.22	ニュージ ーランド	15	10.00%	12	80%
2010.01.12	ハイチ	8	121%	0.1	1%
2010.09.04	ニュージ ーランド	6	5.30%	5	81%
2009.04.06	イタリア	4	0.20%	0.5	14%
2011.10.23	トルコ	0.74	0.10%	0.03	4%
* 2010.04.04	メキシコ/ 米国	0.95	0.09%	0.2	21%

\* 米国の小損害を除く

出典: スイス・リー、シグマ災害データベース

全体として、地震保険の普及率は、地震が発生するリスクの高い先進国でさえ、依然として極めて低い水準です。低い保険普及率は、国民のリスク認識の低さを物語っています。ルチア・ベヴェーレは次のように述べています。「地震は他の災害と比べて発生頻度が低いため、カリフォルニアのように極めて破壊的で損害の大きな地震が発生した地域においてさえ、地震リスクは実際よりもはるかに低く思われがちです」。保険に加入していなかった場合、災害後の補償は、政府の資金を頼ることになり、最終的には納税者が負担することになるのです。

表 2: 表 3 保険普及率、保険料の対 GDP 比 (%)

	損害保険	財物保険	企業向け 損害保険	住宅向け 損害保険	企業向け 地震保険	住宅向け 地震保険
チリ	1.61%	0.51%	0.46%	0.05%	0.25%	0.03%
ニュージ ーランド	5.09%	0.83%	0.35%	0.48%	0.09%	0.07%
カリフォルニア	2.89%	0.80%	0.44%	0.36%	0.03%	0.05%
メキシコ	0.99%	0.18%	0.16%	0.02%	0.08%	0.01%
日本	2.11%	0.26%	0.06%	0.20%	0.01%	0.03%
トルコ	1.06%	0.21%	0.14%	0.07%	0.01%	0.03%
イタリア	2.32%	0.36%	0.18%	0.18%	<0.03%	<0.01%

出典: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部 推定値

保険の引受についても、最近の地震から学ぶべき重要な教訓があります。スイス・リーの地震チームヘッドで本調査のもう一人の共同執筆者でもあるバルツ・グロリムントは、次のように指摘しています。「地震モデルは、地盤振動直後の物的損害を極めて正確に予測することができ



ます。しかし、液状化や特に事業中断のような二次的損害要因が、大地震の損害査定を複雑にしています。地震モデルではこのような要因をより包括的に考慮すべきです」

## スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、元受保険、および保険ベースのリスク移転に関する、世界をリードするホールセールプロバイダーです。直接、またはブローカーを通じて取引を行う顧客基盤は、世界中の保険会社、中堅・大企業、公的機関に亘ります。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品まで、スイス・リーは、事業や社会の発展に不可欠な危険の引受を可能にする資本基盤、専門知識と革新力を備えています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界56カ所で事業拠点を展開し、スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「A1」、A.M. Bestから「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社であるスイス・リー・リミテッド (Swiss Re Ltd) の登録株式は、スイス証券取引所に上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、[www.swissre.com](http://www.swissre.com) をご覧ください。